

科目名称：	医療事務演習Ⅱ	
担当者名：	石堂みゆき、松浦美春	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
診療報酬を算定する上で必要な療養担当規則を把握し、この法律や規則に基づいて各診療料の診療報酬算定方法を学修します。この各診療料（治療費算定）には、いくつか条件があり、各診療料の算定方法、診療報酬明細書（診療報酬の請求書）の記載要領のポイント把握が必要です。診療報酬明細書の誤りを訂正する学修を繰り返し行ない、反復練習により、正確に早く点検作業ができるレベルになることを目指します。		
授業の達成目標・到達目標		
医療事務技能審査試験合格率100%になる様に創意工夫しながら、学生が興味を持って自ら学修する意欲を引き出せるような演習にします。医療事務技能審査試験の診療報酬分野の修得を目標とします。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)		70	20	10	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》医療事務点検業務・受付 (石堂みゆき)	《経験年数1》12年
	《内容2》医療事務点検業務・受付 (松浦美春)	《経験年数2》11年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
処置・リハビリ、手術・麻酔料の理解	算定条件を十分に理解し、自分自身で正しく点数算定ができる。	算定条件を十分に理解し、指示に従って適切に点数算定ができる。	算定条件を理解し、指示通りに点数算定ができる。	算定条件を理解できない。
検査料、注射・投薬料の理解	算定条件を十分に理解し、自分自身で正しく点数算定ができる。	算定条件を十分に理解し、指示に従って適切に点数算定ができる。	算定条件を理解し、指示通りに点数算定ができる。	算定条件を理解できない。
医学管理・在宅、画像診断の理解	算定条件を十分に理解し、自分自身で正しく点数算定ができる。	算定条件を十分に理解し、指示に従って適切に点数算定ができる。	算定条件を理解し、指示通りに点数算定ができる。	算定条件を理解できない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 【手術・麻酔料】手術・麻酔料の点数算定方法を理解する。	基礎ドリルの〈手術・麻酔の問題〉で復習すること。	30分
第2回 【手術・麻酔料】手術・麻酔料の明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	受験対策問題集のAの学科で復習すること。	30分
第3回 【検査料】検査(検体検査)点数算定方法を理解する。	基礎ドリルの〈検査の問題〉で復習すること。	30分
第4回 【検査料】検査(生体検査)の点数算定方法を理解する。	基礎ドリルの〈検査の問題〉で復習すること。	30分
第5回 【検査料】検査料の明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	受験対策問題集のAの学科で復習すること。	30分
第6回 【投薬料】投薬料の点数算定方法を理解する。	基礎ドリルの〈投薬の問題〉で復習すること。	30分
第7回 【投薬料】投薬料の明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	受験対策問題集のAの学科で復習すること。	30分
第8回 【注射料】注射料の点数算定方法を理解する。	基礎ドリルの〈注射の問題〉で復習すること。	30分
第9回 【注射料】注射料の明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	受験対策問題集のAの学科で復習すること。	30分
第10回 【画像診断料】画像診断料の点数算定方法を理解する。	基礎ドリルの〈画像診断の問題〉で復習すること。	30分
第11回 【画像診断料】画像診断料の明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行う。	受験対策問題集のAの学科で復習すること。	30分
第12回 【医学管理・在宅医療料】医学管理・在宅医療料の点数算定方法を理解する。	基礎ドリルの〈医学管理・在宅の問題〉で復習すること。	30分
第13回 【医学管理・在宅医療料】医学管理・在宅医療料の明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。	受験対策問題集のAの学科で復習すること。	30分
第14回 【点数算定・明細書記載1】今まで学習を行った項目の算定方法・点検方法についてグループワークを行い、ディスカッションを行う。	テキスト4の項目ごとの記載要領と点検方法の復習を行うこと。	30分
第15回 【点数算定・明細書記載2】今まで学習を行った項目の算定方法・点検方法についてグループワークを行う。	テキスト4の項目ごとの記載要領と点検方法の復習を行うこと。	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、課題プリント・基礎ドリル・受験対策問題集を行い授業の内容理解をしていくことになる

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
小テスト70%、提出課題20%、授業への貢献、授業への積極的関与10%、出席を前提とし、欠席は授業への積極的関与がないものと判断する。

課題に対するフィードバック

授業中使用プリント、課題は評価し返却する。基礎ドリル・受験対策問題集は、復習状況確認後返却する。

教科書・参考書

教科書：テキスト1～4、スタディブック、ハンドブック、マイベストノート、医科診療報酬点数表、点数早見表
著者：(株)ニチイ学館 発行：(株)ニチイ学館(医科診療報酬点数表 発行：(株)社会保険研究所)
テキストの該当ページを開きながら、スタディブック、医科診療報酬点数表等で確認する
参考書：問題集(基礎ドリル、受験対策問題集)